

○なんとしても国会を乗り切る！

明けまして、おめでとうございます。

年明けから、大変な国会が待ち受けています。私も当然実行すべきだと思う小沢さんの国会証言、無茶苦茶な話だと思うが仕方ないかと思われる仙谷官房長官、馬淵大臣の交代などの問題は、13日の民主党大会を境にして実行していくこととなります。しかし、いざ、予算委員会の日程協議に入れば、自民党はこうした問題に留まらず新たな課題を探し出してイチャモンをつけてくるのには目に見えています。肝心の政策議論をほっぽり出して、予算の中身についての議論もしないで国会を解散しろとのみ叫ぶ自民党の姿勢に対して、「政治はいつまでバカなことをやっているのか。それでは、日本が壊れる。」と、国民がはっきりとした意思表示をして欲しいと心から思います。そうすれば私たちは、「石にかじりついても」解散はしない覚悟がもてます。その上で野党との交渉に望めます。どんな我慢をしても、公明党はじめ他の野党と、予算や法案の中身について徹底した話し合いと必要な修正をして国会を通すことだと思っています。ねじれ国会は、与野党が新しい国会運営を編み出すことでしか、国民の期待に応えるすべはないのだと肝に銘じています。

○海外でも、方々で、ねじれ国会

国会の閉会中に、議員レベルの各種会議に出席することを兼ねて、アメリカ、カナダ、韓国に行ってきました。

アメリカでは、北朝鮮以上に中国脅威論が高まっています。さらに、アフガンやイラクでの軍事予算の膨張が、沖縄をはじめとする日本の基地やアジア戦略の見直しの過程で、日本に対して相応の財政負担増を要求してくる空気があります。議会もねじれて緊張が漂っています。

カナダでは、ハーパー保守党政権が5年以上に及んで下院での少数与党、ねじれ国会を運営してきました。ここでも、連立内閣は組まずに、政策課題によって相手を選択しながら法案や予算の中身を修正協議して可決することで、国会審議を切り抜けていると言います。「内閣支持率は30%だけれど、国会を乗り切ってやるべきことがやれればそれが正しいことだ」と議員たちは言い切っています。消費税に累進性を持たせるために導入され

たカナダの給付付き税額控除(GST クレジット)は、所得440万円以下の家庭には税金の一部を戻しています。夫婦と子2人の家庭では定額7万円ほどが戻ります。今年も日本でも消費税の本格議論が始まります。参考になります。

韓国では、国会の乱闘騒ぎがあって、予定していた私たちの会議までが流れてしまいました。韓国政府は北朝鮮の動向に敏感になっています。挑発にむやみに乗ってしまうことは避ける。アメリカや日本との一枚岩の対応を大切にします。この二点です。北朝鮮の金正日政権に対して煮え切らない中国の問題がここでも話題になりました。私から韓国国防省のシンクタンクのリーダーに提案したのは、「日米韓に加えて、中国のシンクタンクをぜひ巻き込んで、朝鮮半島統一後の国の形を議論して関係国のコンセンサスを作りたい。」ということです。中国は朝鮮半島全体がアメリカの同盟国の韓国になってしまうことを了とはしないだろう。だとすればどのような選択肢があるのか。その合意が関係国間でなければ、中国はいつまでたっても金正日を守る。ここに問題があるから政府が直接話し合える下地作りを民間の専門家でやって欲しいと私は言い続けています。

○知事と市長の候補者選び

三重県の知事、鈴鹿市の市長候補を決めるのに四苦八苦しています。新聞紙上では、皆、勝手なことを描いています。具体的な候補者を絞り込むところまでは至っていません。知事については、民主党の枠組み(国会・県会議員、連合三重など)からなる選考委員会が立ち上げられて、一月中には推薦候補を決定したいと思っています。鈴鹿の市長候補も何人かは名乗りを上げてきています。民主党として推薦できる候補がいれば、近々結論を出したいと思っています。私たちの応援したい候補者が出てきて欲しいと思っています。

○新春の集い

皆様のご参加、お待ちしております。

鈴鹿 1月16日(日) 18:00～ 鈴鹿平安閣

四日市 1月22日(土) 18:00～ 四日市都ホテル

亀山 1月30日(日) 18:00～ あんぜん文化村

【問合せ先】

中川正春後援会事務所 電話: 059-381-3513